



僧都川の清掃活動を行った「まるごと緑」のメンバーと町内の有志の皆さん（前列左から2番目が木村俊介しんすけ会長）

愛は南から――

緑地域の良さを次世代に

「まるごと緑」

緑地域の良さを次世代に引き継いでいこうと地域内外の有志によって結成された「まるごと緑」。平成28年6月の発足以来、地域の課題解決の仕組みづくりや特産品開発、拠点づくりなどに積極的に取り組んでいきます。もともと青年団や老人クラブなど様々な団体がある緑地域では、各団体が、それぞれ独自の目的を持って活動しています。それを地域全体の活動と捉えて、各団体を結ぶ核になるのが「まるごと緑」です。会長は、緑公民館長や消防団の要職なども兼務する木村俊介しんすけさんです。

平成29年4月からは、緑地域に着任した地域おこし協力隊の森裕之ひろゆきさんと活動の歩調を合わせて、その動きを加速させていきます。

豊かな田舎暮らしを

「緑」から

「まるごと緑」では、この夏、地域の豊かな自然を維持していくための活動の一環として、地域を流れる僧都川の清掃活動を企画しました。

「山、川、海すべてが繋がっているの、川のゴミを放っておくと海に流れてしまう。それを魚が食べ、その魚を人間が食べる。結局は人間に帰ってくる」という木村会長。「せめて活動拠点である地元じよんの川はきれいにしておきたい」との思いから清掃活動を思い立ちました。活動には「まるごと緑」のメンバーのほか、高校生や町内の有志ら約20人が参加し、1時間ほどかけて、大道地区を流れる僧都川



僧都川でゴミを集める「まるごと緑」の木村会長



「まるごと緑」が自作したピザ釜おいしいピザが焼けます

のゴミを拾い集めました。清掃後、参加者は川遊びを楽しみ、「まるごと緑」のメンバーが自作したピザ釜で焼いた自慢の自家製ピザを味わいます。「緑地域の良いところを発信しながら、「食」や「体験」をテーマにした交流活動に力を入れた」と今後の活動に意欲を示す木村会長。「まるごと緑」が発信する豊かな田舎暮らしに注目が集まっています。

訂正 8月号P27「愛は南から」の記事で、愛南町史編纂委員会の委員名簿から高田義隆よしたかさんの名前が抜けていました。訂正してお詫びします。